

月山 日本一の雪国宣言

1 ねらい

西川町の最大資源とも言える「月山の雪」に着目し、その活用を最大限に図り、国内のみならずインバウンドにも耐える「雪の活用日本一」という観光ブランドの確立を行うことによって、国内外からの誘客の増大を図り、西川町の観光産業基盤の強化、経済の活性化による町内所得の増加に結び付けていく。雪が宝であるという価値観の醸成を図り、「雪国にしかわ」の活性化のためのシンボリックスタートして、この宣言を行う。

2 考え方

1 日本一の積雪深であることの確認
月山ジオパーク構想における研究の成果等から、改めて、月山山麓の姥沢地区が国内で一番の積雪深があり、志津地区が人々が暮らす地域としては国内で一番の積雪深であることが判明している。ちなみに、雪が少ない東アジアにおいても屈指の積雪地であると言われる。
(山形大学地域教育文化学部 八木 浩司 教授 指導)

2 “国内で一番長く雪に親しむことができる観光地”としての確認

日本で一番の積雪深であるということは、それだけ、長くスノーアクティビティが楽しめることになる。実際、11月からのスノーシュートレッキングから7月下旬までの夏スキーが楽しめる期間(約9ヶ月間)は、気軽に行くことができる標高2,000m弱の山麓では、国内最長と言える。

3 雪を楽しむ多様なスノーアクティビティの確認

雪を楽しむことができるアクティビティは次のように豊富にある。

- ①スノーシュートレッキング+雪遊び**
11月~3月末までのスノーシュートレッキングやそり滑り、スノーモービル、バナナボートなどの雪遊び
- ②バックカントリースキー**
12月から5月まで、ゲレンデスキーエリア外で楽しむ山岳スキー
- ③ゲレンデスキー**
4月上旬~7月末まで楽しめるゲレンデスキー

④残雪とブナの新緑トレッキング

5月から6月まで県立自然博物館内で楽しめる残雪とブナの新緑トレッキング

⑤フラワートレッキング

6月~7月、残雪の中に高山植物が咲き出す雪田植生を楽しむ月山フラワートレッキング(高山植物は9月中旬まで楽しめる)

⑥雪がもたらす他のアクティビティ等

カヌー、溪流釣り 等

4 雪があるからこそその食文化の成り立ちの確認

雪の多さは、次のような独特の食文化をもたらしている。

①食のジャンルに打ち立てられた「山菜料理」

広大なブナの原生林を背景に、雪が多いがゆえに収穫期間が長く、採取量が多く、質が良いとされる山菜を原料に、出羽三山の山岳信仰に育まれてきた西川町独自の山菜料理

(→町内の山菜料理専門店の登場で食分野の中に「山菜料理」というジャンルが確立)

②雪がもたらす恵みー水、地酒、地ワイン、地ビール

豪雪が豊かな水系をもたらすが、その恵まれた水を原料に生産されている地酒、地ワイン、地ビール



1月

2月

3月

4月

5月

6月

7月

8月

9月

10月

11月

12月

月山バックカントリースキー

月山雪の回廊ウォーキング

雪旅籠の灯り

山菜料理

ブナと新緑と残雪トレッキング

月山スノーシュートレッキング

カヌー

きのこ料理

月山フラワートレッキング

月山夏スキー

月山山菜そば

